

学校運営協議会 議事録

校名	府立たまがわ高等支援学校
(准)校長名	東野 裕治

開催日時	令和5年3月14日(火) 10:00 ~ 11:15
開催場所	たまがわ高等支援学校 会議室
出席者(委員)	協議会委員5名
出席者(学校)	事務局員8名
傍聴者	なし
協議資料	<資料1>令和4年度学校経営計画及び学校評価 <資料2>令和5年度学校経営計画(案) <資料3>令和4年度授業アンケート分析 <資料4>令和4年度学校教育自己診断アンケート分析 <資料5>令和4年度 15期生 進路状況 <資料6>生活支援部 厳守事項
備考	

議題等(次第順)

- (1) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について
- (2) 令和5年度学校経営計画(案)について
- (3) 令和4年度授業アンケート分析について
- (4) 令和4年度学校教育自己診断アンケート分析について
- (5) 報告事項 ①進路状況について ②学校生活について

協議内容・承認事項等(意見の概要)

- (1) 令和4年度学校経営計画及び学校評価について <承認5名>
 地域との交流や関係機関との連携については概ね目標を達成している。特に、Web会議システムを使ったオンラインでの学校見学会を実施したことで、中学校等の教員が公開授業に参加する機会が増えた。進路指導及び生徒の社会的自立について、今年度は1年後の離職者が1.8%にとどまった。卒業生の努力が大きい。キャリアプランニングマトリックスの実施についてはスケジュールが遅れているので、来年度以降も継続して取り組む。遅刻指導は体制を変えて効果をあげている。不登校の生徒が遅れてでも登校するので、全体としては1割弱の減少になった。生徒会活動も計画は進んでいるが、外部の施設への出入りはまだ難しいこともあり、実施には結びついていない。進取の機運に富んだ取り組みでは、教員間の授業見学の回数が伸びなかった。多忙なこともあるが、意識してお互いの授業を見学してほしい。時間外勤務については、部活動が平常に戻ってきているため活動時間が増え、減少につながらなかった。
- (2) 令和5年度学校経営計画(案)について <承認5名>
 中期的目標はほとんど変わらない。今まで以上に多様な進路先を開拓していく。地域との交流では、河内警察署とのタイアップをはじめ、提携先を増やす。部活動では、本校を拠点として様々なスポーツ大会等に参加し充実を図る。今年度教員用図書を充実させたので、教員の研修に活用してほしい。ワークライフバランスについて、全校一斉定時退庁日を儲け時間外勤務の減少をめざす。
- (3) 令和4年度授業アンケート分析について <承認5名>
 今年度からi Padを使って実施したため、1問ずつよく考えてチェックをしている印象。全体的に授業満足度は高い。教科によっては「考えを話す」という項目で低い傾向がみられるので、来年度は一般教科、専門教科ともにグループ学習などを通して主体的で対話的な深い学びを促していきたい。
- (4) 令和4年度学校教育自己診断アンケート分析について <承認5名>
 全体的には前回と大きく変わることはない。生徒についてはSSWや臨床心理士相談の活用により、気軽に相談できる先生がいる、という項目で大きく上回った。また、外部との交流についても少しずつ改善されていると感じる。保護者では、意見を聞く機会がある、という項目で前年度を下回っており、授業参観や懇談会などで保護者のニーズを聞く機会としたい。共生は、回収率が低く分析が難しかった。回収率をあげる工夫をしていきたい。教職員ではICT機器の活用について大きく上回った。機器が整備されて授業等で使う機会が増えている。また、PTA活動も状況が改善して行事等ができるようになり、教員の参加も実感できるようになっている。服務規律への自覚でポイントを下げているので、改めて服務規律の順守を確認したい。
- (5) 報告事項 <承認5名>
 ①進路状況について
 今年度の卒業生について。就労は全部で58名。6月実習では43名が2回目の実習に進むことができ、2回目の実習を経て31名が就労に結びついた。残りの生徒は1月以降も実習が続き、全体としては遅いペースになったが就労希望の生徒は全員就労することができた。進路先として福祉施設も増えているので、今後さらに開拓を進めたい。1、2年生では、新型コロナウイルス対策のため実習期間中に参加できなかった生徒が3月に補填して実習を行っている。
- ②学校生活について
 今年度、指導案件は少なかった。小さいトラブルのうちに生徒が相談してくれるようになったことと、教員の見守りがしっかりできたことが良かった。また、生徒がルールを守ることができるようになってきている。一方で警察との連携をしている生徒もある。校内ではないが、人のものを盗る、つきまとい、など。来年度、現在2つある同好会がどちらも部活動になる。SSWの活用では、外部機関の新規開拓を進めていきたい。厳守事項については少し厳しいところもあるが、全員が学校生活を安全安心に送ることができるようにしていきたい。
- 意見
 ・先週やっと卒業式を終えた。入学前から一斉休校が始まり、入学式も6月。スタートが遅れたことは親としてもすごく不安であった。しかし、3年たってウイズコロナ、アフターコロナの中で学校の取り組みは大きく変わった。それを考えると85%近い就労率は立派な数字。
 ・コロナ禍の中、学校の授業の在り方も大きく変化し、教職員は苦勞されたと思う。2026年までに法定雇用率が今より0.4%上がると言われており、雇用は広がっていくと思われる。
 ・自転車のヘルメットの着用はどう指導していくのか? ⇒府教委の通知では、まず啓蒙を、とされている。今のところ購入を強制するようなことはない。まずは安全指導から。
 ・地域の中学校区の会議でタブレット使用について話題になったことだが、生徒にタブレットの使用状況を聞くと学習で20%。80%はアプリ(娯楽)だという回答があった。
 ・自信を持っている生徒ほど、就労しても「やればできるから」「面白くない」と簡単にやめてしまう。障がい者雇用で苦勞して決まったことを思い出してほしい。できることがいい方向に向けば良いかと。
 ・令和4年度の評価は数字に出ており、努力の成果かと思う。一方で多様化している生徒の状況に対応できるように、就労した時に1年でも長く続けられるように、就労・生活支援センターとの連携や、学校経営には保護者の意見も大事にしてほしい。
 ・健全な学校運営ができるように、一部の教員に負担がいかない業務改善を図ってほしい。

次回の会議日程

日時	令和5年7月
会場	たまがわ高等支援学校